

MITSUBISHI

三菱電機低温流通管理システム

取扱説明書

MELCOLD

デラックスコントローラ 用

目次

	ページ
1. お使いになる前に	
・安全のために必ず守ること	1
・使用上のご注意	3
2. リモコンの外観と各部の名称	4
3. ご使用方法	5
4. ようすがおかしいとき	13
5. 保証条件・アフターサービス	16



このたびはMELCOLDデラックスコントローラをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- お客様ご自身では、据え付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)






1. お使いになる前に

安全のために必ず守ること

- ご使用前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

本文中に使われる“図記号”の意味は次の通りです。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。
	電源を必ず切ってから行ってください。
	触れたり、指や棒を入れないでください。

- お読みになった後は、工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

お客さま自身で据付けはしない。

- 据え付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据え付け工事をされ不備があると感電・火災の原因となります。

アース工事を行う。

- アース工事は販売店または専門業者に依頼してください。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

コントローラを水洗いしない。

- コントローラに直接水をかけないでください。ショート・感電の原因となります。

屋外で使用しない。

- 屋内仕様のコントローラは、屋外で使用しないでください。雨水のかかる場所でご使用されると、ショート・感電の原因となります。

異常時は運転を停止して、電源を切る。

- 異常時は運転を停止して、元電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

お客さま自身で移設しない。

- 移設は、販売店または、専門業者にご相談ください。据え付け不備があると感電・火災等の原因になります。

⚠ 警告

❗ お客さま自身で修理しない。

- 販売店または専門業者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。分解・修理・改造に不備があると異常動作によりケガをしたり、感電・火災等の原因になります。

⚠ 注意

🚫 濡れた手でスイッチや電気部品を触れない。

- 濡れた手でスイッチや電気部品には、触れないでください。触れますと感電の原因になることがあります。

🚫 可燃性スプレーを近くで使用したり、可燃物を置かない。

- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにしてください。スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

🔌 長時間使用しない時は、電源を切る。

- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源を切ってください。

🧹 掃除のときは、必ず運転を停止し、電源を切る。

- 掃除をするときや、整備・点検のとき、必ず運転を停止させ、電源を切ってください。感電の原因になることがあります。

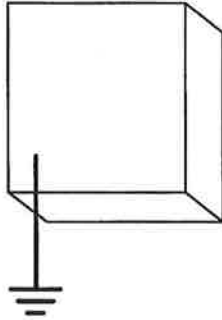
🚫 露出している配線に触れない。

- 露出している配線に触れないでください。感電の原因になることがあります。

使用上のご注意

■設置状態を確認してください。

- 安全のため、アース端子から確実にアースが取付けられているか、確認してください。



■運転スイッチの操作はユニットの運転を3分以内、また停止を5分以内で繰り返し操作しないでください。

- 圧縮機に無理がかかり、故障の原因となりますので、絶対にやめてください。
- 運転スイッチを3分以内で操作した場合は圧縮機が運転しないようになっています。3分間経過するまでお待ちください。

■高級商品の冷蔵・冷凍用途などに使用する場合は、万一の場合を考え、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように必ず警報装置を設けてください。

- ユニットには保護装置が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子を設けていますので警報装置を接続するようにしてください。

■血液・ワクチン・医薬品など厳重な温度管理を必要とする用途に使用される場合は、貯蔵品の損傷を未然に防止できるように、必ず警報装置及び、保護サーモの設置等をお願いします。

■リモコンのボタンを押す時間の長さで動作が変わるものがありますので、押す時間に注意して操作を行ってください。

- 設定ボタン
 - 1) 通常モード中3秒以内の2度押しで設定モードに移行します。
設定モード中3秒以内の2度押しで通常モードに復帰します。
 - 2) 5秒以上押し続けると設定値が標準設定値に戻りますので、注意してください。
- 手動除霜
 - 1) 1回押し（2秒未満）で除霜終了サーモ有効となり、除霜は除霜終了サーモ作動または除霜時間経過のどちらか早い方で終了します。
 - 2) 2秒以上連続押しで除霜終了サーモ無効となり、除霜は除霜時間経過後終了します。

2. リモコンの外観と各部の名称

リモコン

モード番号表示部
 モード切換ボタンを押すごとに、モード番号表示が切換わります。

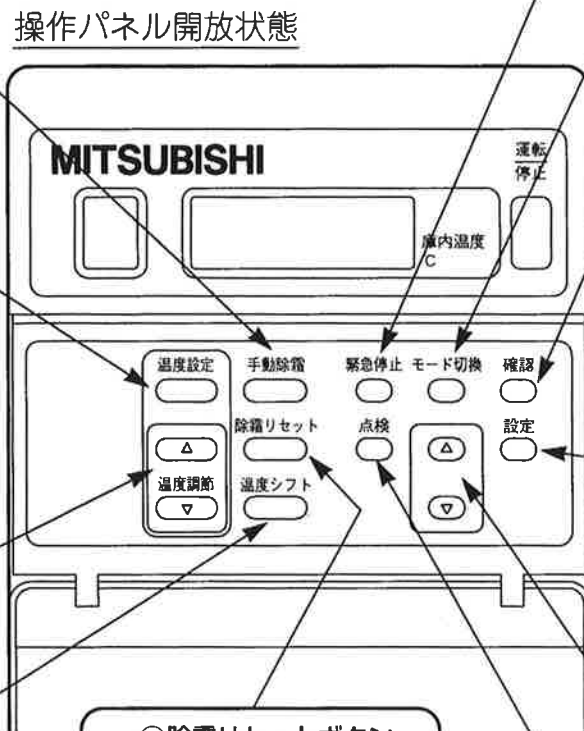
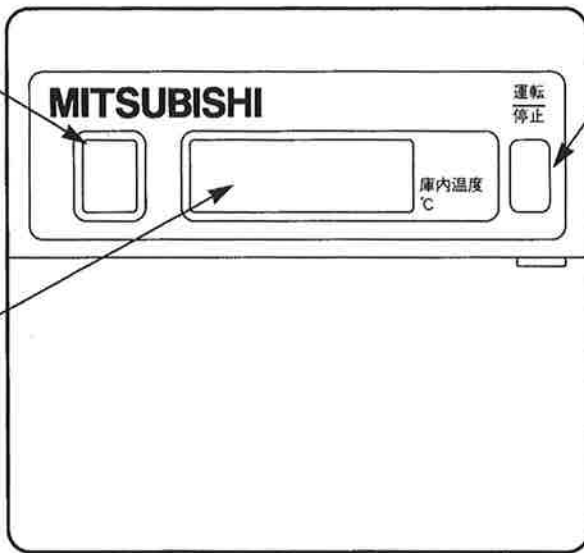
データ表示部
 庫内温度、異常、各設定値を表示します。

Ⓔ 手動除霜ボタン
 ボタンを押すと、除霜を開始します。
 2秒以内に1回押すと除霜終了サーモが有効となり、除霜は除霜終了サーモ作動または除霜時間経過のどちらか早い方で終了します。
 また、2秒以上連続押しすると除霜終了サーモ無効となり、除霜は除霜時間経過後終了します。

Ⓒ 温度設定ボタン
 ボタンを押すごとに、通常モード ↔ 温度設定モードに切換わります。

Ⓓ 温度調節ボタン
 温度設定モード時、ボタンを押すことで設定温度の数値が増減します。

Ⓔ 温度シフトボタン
 ボタンを押すことにより、設定された温度値まで下げる運転を行います。
 3秒以内2度押しで設定温度 - 温度シフト値まで一度冷却し、その後通常運転に戻ります。



Ⓕ 除霜リセットボタン
 ボタンを押すことにより、除霜運転時、除霜を解除します。
 ※除霜リセットボタンを押す時は、ユニットクーラに残水が付いていないことを確認してください。
 点検時、2度押しで異常履歴リセットができます。

運転ランプ
 運転時点灯、停止時消灯、異常時点滅します。

Ⓐ 運転/停止ボタン
 ボタンを押すごとに運転 ↔ 停止に切換わります。
 異常表示時、停止操作により異常が解除されます。

Ⓑ 緊急停止ボタン
 ボタンを押すことによりユニット運転中圧縮機、冷却ファンを瞬時に停止できます。

Ⓙ モード切換ボタン
 設定モード中ボタンを押して設定するモード番号を切換えます。

Ⓚ 確認ボタン
 ボタンを押すことにより各モードの登録データが表示されます。

Ⓛ 設定ボタン
 各モードの設定データの登録操作時に押します。
 3秒以内に2度押しすることで設定モードに移行します。設定モード中3秒以内に2度押しすると通常モードに戻ります。また5秒押し続けると標準設定値に設定されます。設定温度も標準設定値に戻ります。

① 設定値変更ボタン
 設定モード中に各種データを設定するときにボタンを押すことで数値の増減ができます。

Ⓛ 点検ボタン
 3秒以内に2度押しすることで、点検(自己診断)モードに移行します。5秒以上押し続けるとリモコン診断モードに移行します。

注意

注意

注1. 点検 (自己診断)、リモコン診断は工事説明書を参照ください。

3. ご使用方法

1. 運転操作

冷却開始

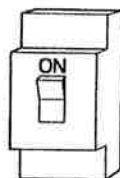
1

運転スイッチをいったん「切」にしておく。

2

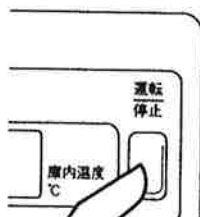
電源スイッチを入れる。

電源を投入すると約1分間リモコンが点滅表示し、その後庫内温度が表示されます。



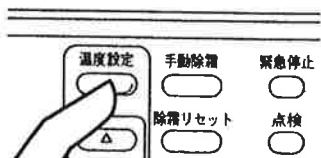
3

運転/停止 ボタン(A)を押してください。



4

リモコンカバーを開放し、内部の「温度設定」ボタン(C)を押し、温度調節(Δ)(▽)ボタン(D)でご希望の温度に合わせ、再度、「温度設定」ボタン(C)を押してください。



(注1)

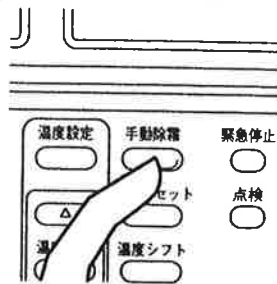
ボタン操作時以下の表示をする場合は、コントローラ(基板)にて手元の操作禁止の設定を行っておりますので、お買い上げの販売店または専門業者へご相談ください。



除霜

除霜は自動的に行います。“冷却運転”途中で除霜を行う場合は操作パネルを開放し「手動除霜」ボタン(E)を押してください。

なお除霜中はデータ表示部に「dF」と表示します。



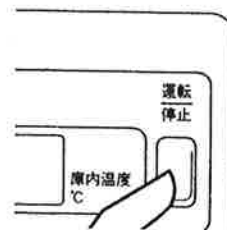
注1. 冷却器ファンは除霜中停止しています。

2. 除霜中(dF表示)は手動除霜を受け付けないので注意してください。

停止

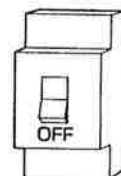
1

運転/停止 ボタン(A)を再度押してください。運転表示灯が消灯し、しばらくしてユニットは停止します。除霜中(dF)の表示が出ているときは「運転/停止」ボタン(A)を押さないでください。



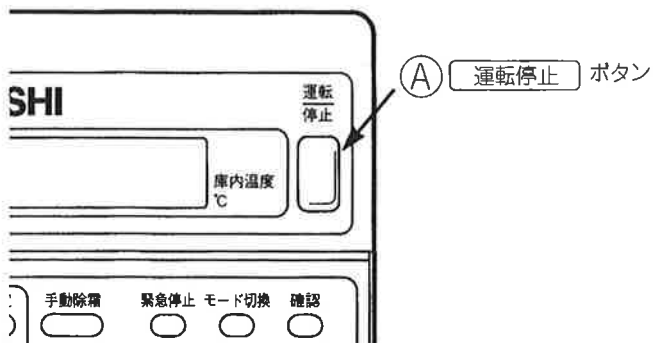
2

長期間停止する場合は電源スイッチを切ってください。



2. リモコン操作

(1) 運転



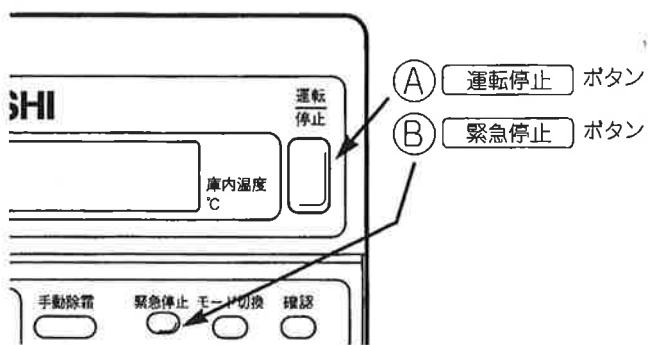
電源投入後約1分間の点滅表示を行い、動作します。

運転/停止 ボタン①を押してください。

運転/停止 ボタン①が赤く点灯します。

※液管電磁弁を開けて低圧上昇によりユニットが運転します。

(2) 停止

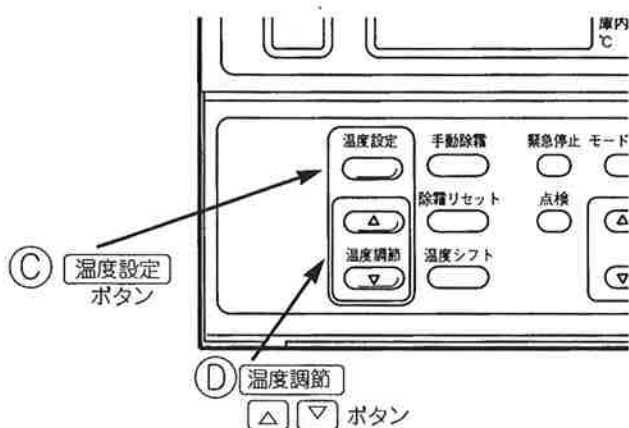


運転/停止 ボタン①を再度押してください。

運転/停止 ボタン A の赤い表示が消灯し、液管電磁弁が閉じ、ユニットが停止します。

ユニットを緊急に停止させたい場合は
緊急停止 ボタン②を押してください。ユニットは
すぐに停止（直切り）します。

(3) 庫内温度設定



初期値：-25°C

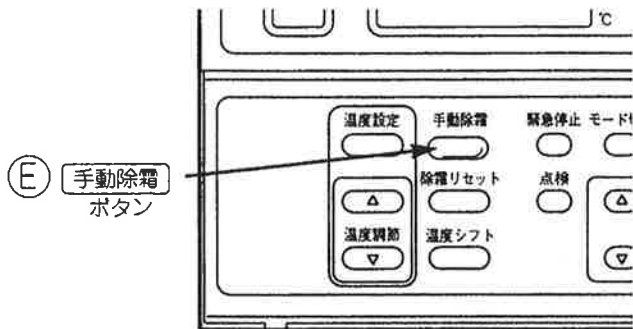
設定範囲：-70.0~57.0°C

変更する場合は次の通りです。

温度設定 ボタン③を押し 温度調節 **△** **▽** ボタン④
で、希望の温度に合わせ、再度 **温度設定** ボタン③
を押してください。温度設定中は次の表示になります。

モード番号 設定値
0 -20.0

(4) 手動除霜



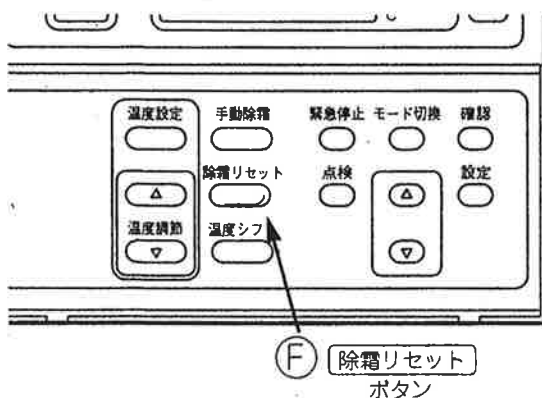
手動除霜 ボタン⑤を押すと、除霜を開始します。データ表示部には「dF」が表示されます。

このとき、**手動除霜** ボタン⑤を押す時間により除霜終了サーモ有効/無効が設定できます。

- **手動除霜** ボタン⑤ 1回押し (2秒未満)
除霜終了サーモ有効となり、除霜は除霜終了サーモ作動または除霜時間経過のどちらか早い方で終了します。
- **手動除霜** ボタン⑤ 2秒以上連続押し
除霜終了サーモ無効となり、除霜は除霜時間経過後終了します。

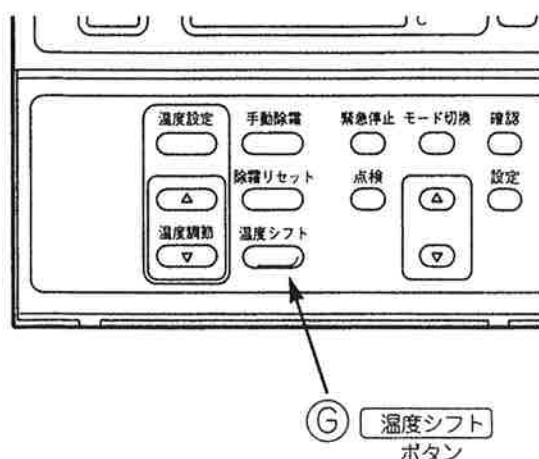
注. オフサイクル除霜時は、除霜終了サーモ無効のみになります。

(5) 除霜リセット



除霜リセット ボタン⑥を押すと、除霜が解除されます。ただし **除霜リセット** ボタン⑥を押す場合はユニットクーラに残氷がないことを十分に確認してください。少しでも残氷があると、冷却能力低下につながります。

(6) 温度シフト



温度シフト運転をする場合は次の操作によります。

温度シフト ボタン⑦を3秒以内に2度押します。1回だけ温度シフト値分ユニットのOFF点が低下し、

5時間冷却運転を続行し、その後通常の冷却運転に戻ります。

温度シフト運転中はモード番号表示部に「-」が表示されます。

- 注1. 温度シフト値の標準設定は0degなので温度シフト運転しません。
必要なときのみ温度シフト値を設定してください。
2. 除霜中に **温度シフト** ボタン⑦を押すと、除霜終了後 (dF表示が消えた後) にモード番号表示部に「-」が表示され温度シフト運転を開始します。

3. リモコンによる設定値変更

(1) 設定値変更

この設定値変更は必要な項目のみ設定します。変更がない場合は行なわないでください。
表1から機能設定が必要な項目を選び表2に記入後設定を行なってください。

表1 設定値変更内容

※出荷時は標準設定値です。

モード番号	データ名	設定範囲	刻み幅	標準設定値
1	庫内温度差 (deg)	0.5~5.0	0.5	3.0
2	温度シフト値 (deg)	0.0~10.0	0.5	0.0
3	高温警報温度差 (deg)	0.0~60.0	0.5	0.0
4	セットバック温度 (deg)	0.0~10.0 注1	0.5	0.5
5	現在時刻	00:00~23:59	:01	00:00
6	通常運転開始時刻	00:00~23:50	:10	--:-- (未設定)
7	セットバック運転開始時刻	00:00~23:50	:10	--:-- (未設定)
8	除霜開始時刻	00:00~23:50	:10	5:00, 11:00 17:00, 23:00

注1. セットバック温度が0.0degのときはスケジュール停止となります。

表2 設定内容確認記入表

モード番号	データ名	記入欄	刻み幅
1	庫内温度差 (deg)		0.5
2	温度シフト値 (deg)		0.5
3	高温警報温度差 (deg)		0.5
4	セットバック温度 (deg)		0.5
5	現在時刻	—	:01
6	通常運転開始時刻 (4ポイントまで設定可能)		:10
7	セットバック運転開始時刻 (4ポイントまで設定可能)		:10
8	除霜開始時刻 (12ポイントまで設定可能)		:10

●工事終了後、設定値変更によりユニットコントローラの機能を変更した場合は、必ず全設定の内容を記入しておいてください。

1.<庫内温度差の設定>

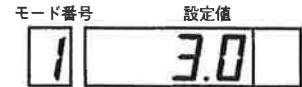
(モード番号：1)

ユニットをON、OFFさせる温度差を設定します。

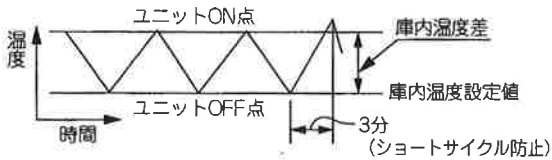
設定範囲	刻み幅	標準設定値
0.5~5.0 [deg]	0.5	3.0 [deg]

注1

- ① [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。
- ②モード番号表示部に「1」データ表示部に現在の設定値 (標準設定値の場合3.0) が点灯します。

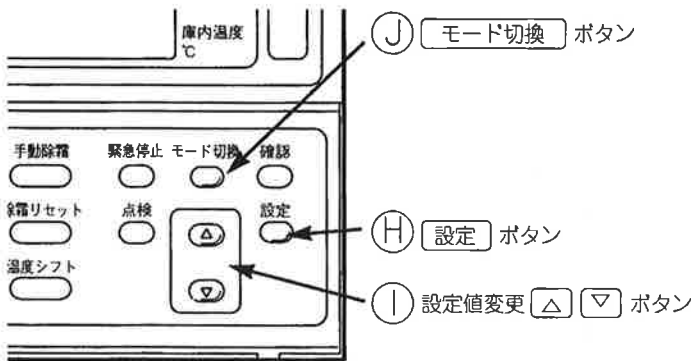


庫内温度設定値と庫内温度差の関係



注2

- ③設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) を押して設定値を変更します。設定値の変更中は、データ表示部が点滅表示します。




- ④変更した後に [設定] ボタン (H) を1回押して、変更した設定値を登録します。設定完了時、設定値表示部分「.」が点滅表示します。

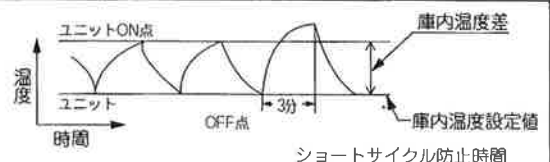


- ⑤ [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。しばらくすると設定値変更モードが解除され、ユニットコントローラの運転状態画面へ復帰します。

お願い 途中操作を間違えた場合は、⑤の作業([設定] ボタン (H) の3秒以内2度押し)を行い設定値変更モードを終了して再度①より行なってください。

注1 [設定] ボタン (H) を5秒以上連続押しすると、設定温度も含め標準設定値に戻ってしまうので注意してください。標準設定値に戻った場合は、 の表示が出来ます。

注2 庫内温度の設定値は、ユニットの停止する温度 (OFF: 切値) を示します。ユニットが運転する温度 (ON: 入値) は庫内温度差分だけ高くなりますので注意してください。また、ショートサイクル防止機能が付いていますので、庫内温度差を小さくした場合でも、冷蔵庫内の負荷の程度によっては、ユニットON点をこえる場合がありますので注意してください。ショートサイクル防止時間は3分固定です。



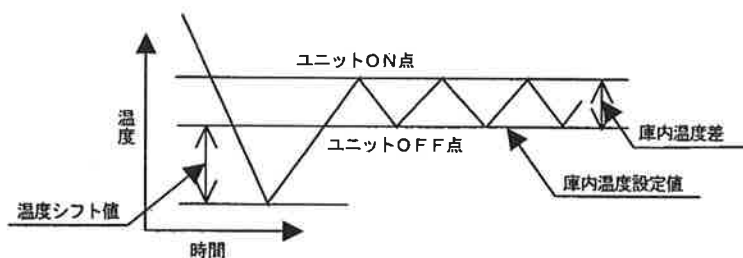
2. <温度シフト値の設定>

(モード番号：2)

温度シフト時のシフト値を設定します。

設定範囲	刻み幅	標準設定値
0.0~10.0[deg]	0.5	0.0[deg]

庫内温度と温度シフト差の関係



- 注1. 標準設定は0degなので温度シフト運転は行いません。
 2. 温度シフト運転は誤って使用されると収容物を凍結させることがあるので、用途を確認のうえ使用してください。

- ① **設定** ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。
- ② **モード切換** ボタン (J) を押して、モード番号を「2」に合わせます。
- ③ 設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) を押して、設定値を変更します。
- ④ **設定** ボタン (H) を1回押して、変更した設定値を登録します。
- ⑤ **設定** ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。しばらくすると設定値変更モードが解除されます。

3. <高温警報温度差の設定>

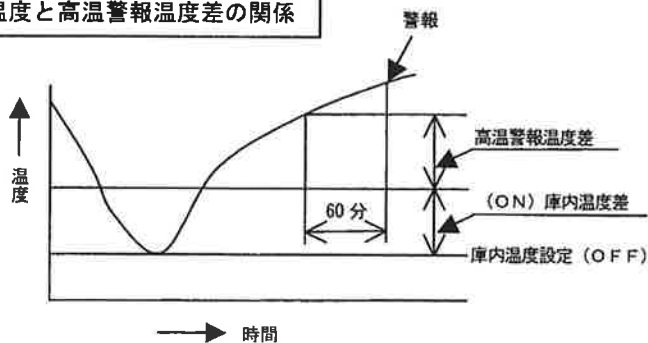
(モード番号：3)

高温警報を出力する温度差を設定します。

設定範囲	刻み幅	標準設定値
0.0~60.0[deg]	0.5	0.0[deg]

庫内が高温になった場合、リモコンで警報を表示、基板上の警報接点を使用する場合に利用してください。

庫内温度と高温警報温度差の関係



庫内温度が(設定温度+庫内温度差+高温警報温度差)以上を連続して60分経過すると異常表示及び温度警報信号を出力します。

- 注1. 標準設定は0degなので高温警報は出力されません。
 注2. 高温警報の解除方法につきましては、別紙『デラックスクントローラ用 工事説明書』のP.32を参照ください。

- ① **設定** ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。
- ② **モード切換** ボタン (J) を押して、モード番号を「3」に合わせます。
- ③ 設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) を押して、設定値を変更します。
- ④ **設定** ボタン (H) を1回押して、変更した設定値を登録します。
- ⑤ **設定** ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。しばらくすると設定値変更モードが解除されます。

警報表示

リモコン表示部に **HC** を表示します。

警報出力

接触器ボックス内の端子台 73-74 間(無電圧接点)に電源及びブザー又はランプを取付けられることをおすすめします。

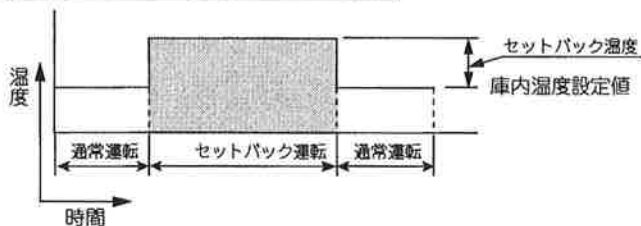
4.<セットバック温度の設定>

(モード番号：4)

セットバック運転時に設定温度をシフトする温度差を設定します。

設定範囲	刻み幅	標準設定値
0~10.0 [deg]	0.5	0.5 [deg]

通常運転とセットバック運転

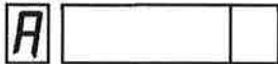


スケジュール運転によりセットバック運転が可能です。セットバック温度に0.0degを設定すると、セットバック運転中は庫内温度にかかわらずサーモ停止状態となります。

セットバック運転中は、ユニットのON、OFF点がともにセットバック温度分高く設定されます。また、モード番号表示部に「A」が表示されます。

セットバック運転中のON点
=通常運転中のON点+セットバック温度
セットバック運転中のOFF点
=通常運転中のOFF点+セットバック温度

モード番号



- ① [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。
- ② [モード切換] ボタン (J) を押して、モード番号を「4」に合わせます。
- ③ 設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) を押して、設定値を変更します。
- ④ [設定] ボタン (H) を1回押して、変更した設定値を登録します。
- ⑤ [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。しばらくすると設定値変更モードが解除されます。

5.<現在時刻の設定>

(モード番号：5)

現在時刻を設定します。

設定範囲	刻み幅	標準設定値
00:00~23:59	:01	00:00

設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) は、現在時刻設定時、押し続ける時間によって次のように設定値が変化します。

▶ 3秒未満

1分単位で設定値が変化します。

00.00 ↔ 00.01 …… 23.58 ↔ 23.59

▶ 3秒以上6秒未満

10分単位で設定値が変化します。

00.00 ↔ 00.10 …… 23.40 ↔ 23.50

▶ 6秒以上

1時間単位で設定値が変化します。

00.00 ↔ 01.00 …… 22.00 ↔ 23.00

- ① [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。
- ② [モード切換] ボタン (J) を押して、モード番号を「5」に合わせます。データ表示部に現在の設定値が点灯します。
- ③ 設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) を押して、設定値を変更します。
- ④ [設定] ボタン (H) を1回押して、変更した設定値を登録します。
- ⑤ [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。しばらくすると設定値変更モードが解除されます。

6. <通常運転開始時刻の設定>

(モード番号：6)

<セットバック運転開始時刻の設定>

(モード番号：7)

<除霜開始時刻の設定>

(モード番号：8)

スケジュール運転により、通常運転開始・セットバック運転開始・除霜運転開始ができます。

設定範囲	刻み幅	標準設定値
00:00~23:50	:10	---:-- [除霜開始時刻の標準設定値は 5.00, 11.00, 17.00, 23.00]

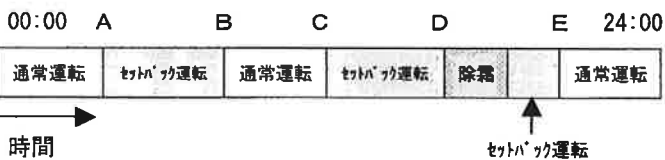
スケジュール運転時刻設定

- 通常運転開始時刻 最大4時刻
冷却運転を開始します。
(運転温度設定=庫内温度設定)
- セットバック運転開始時刻 . . . 最大4時刻
セットバック運転を開始します。
(運転温度設定=庫内温度設定+セットバック値)
セットバック温度に0.0degを設定すると、スケジュール停止となります。
- 除霜運転開始時刻 最大12時刻
除霜運転を開始します。

<設定例およびユニットの動作>

セットバック運転開始時刻 A, C
通常冷却運転開始時刻 B, E
除霜開始時刻 D

となるように設定した場合、ユニットの動作は下記ようになります。



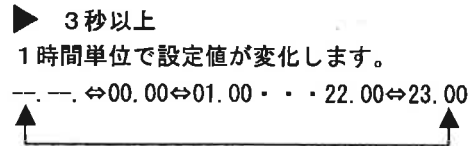
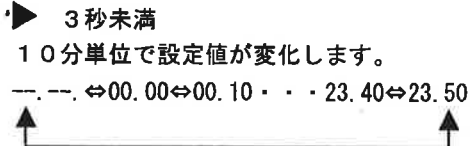
- 注1. 各運転開始時刻を同時刻に設定した場合は、次の順で優先されます。
- 除霜運転開始時刻
 - 通常運転開始時刻
 - セットバック運転開始時刻
2. スケジュール運転を行う際には、現在時刻の設定が必要です。
3. 除霜開始方式をコントローラ基板上で「時刻」に設定しても、除霜開始時刻を1時刻も設定していない場合には、除霜運転を行いませんのでご注意ください。
4. スケジュール運転において、通常運転/セットバック運転/除霜運転の各開始時刻に停電していた場合、運転モードは切り換わりません。
また、各運転開始時刻の設定は、現在時刻以降の設定のみ変更可能となります。

① [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。

② [モード切換] ボタン (J) を押して、モード番号を「6」もしくは「7」、「8」に合わせます。

③ 設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) を押して、設定値を変更します。

設定値変更 (Δ) (▽) ボタン (I) は、時刻設定時、押し続ける時間によって次のように設定値が変化します。



④ [設定] ボタン (H) を1回押して、変化した設定値を登録します。

- 通常運転開始時刻は最大4時刻まで設定できます。
- セットバック運転開始時刻は最大4時刻まで設定できます。
- 除霜運転開始時刻は最大12時刻まで設定できます。

⑤ 時刻を2ポイント以上設定する場合は

(1) [確認] ボタン (K) を押して、すでに設定している内容を確認します。
例えば通常運転開始時刻が、2ポイント「00:00」、「06:00」設定されている場合 [確認] ボタン (K) を押すごとに次のように表示が変化します。
00.00 → 06.00 → --:-- → --:--
(--:--は未定)

(2) 変更もしくは追加したい時刻で③④の操作を行ってください。

(3) 未設定にする場合は表示を「--:--」にして③④の操作を行ってください。

⑥ [設定] ボタン (H) を3秒以内に2度押しします。
しばらくすると設定値変更モードが解除されます。

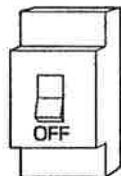
4. ようすがおかしいとき

- サービスをお申しつけの前につぎのことをお調べください。それでも原因が分からない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)へご連絡ください。

1. まったく運転しない

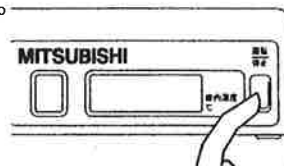
電源スイッチ・ブレーカが切れていませんか

完全に入っていますか。もう一度入れなおしてみてください。



運転/停止ボタンが切になっていませんか

リモコンの運転/停止ボタンを再び「入」にしてください。



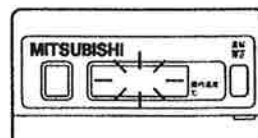
運転/停止ボタンが発光していることを確認してください。

停電していませんか

復電後自動復帰します。

庫内温度設定値が高くなっていませんか

設定値を見直してください。



ショートサイクル停止中ではありませんか

ひんぱんな発停を防ぐためユニットが停止すると3分間は再起動しないシステムにしています。3分間おまちください。(運転スイッチをいったん「切」にし、再運転する場合も3分間起動しないシステムになっています)。



2. 温度表示部が **E0**、**E1** を表示したとき

E0 ユニット異常 (保護装置作動)

E1 除霜中のユニット異常 (保護装置作動)

作動した保護装置を確認し、原因を調査してください。

異常コードの内容については工事説明書を参照ください。

- 異常発生時、次の手順で復旧してください。

① リモコンにて **運転/停止** ボタンを押してください。注1

② 冷凍機ユニットの保護装置をリセットしてください。

③ リモコンにて **運転/停止** ボタンを押して運転を再開してください。

原因がわからない場合、または頻繁に発生する場合は、お買い上げの販売店または最寄りの三菱電機ビルテクノサービス(株)へご連絡ください。

注1. 異常発生時、必ずリモコンにて停止操作を行ってください。もし、行わないと、上記②操作後再運転します。